

学科一括入試の趣旨及びコース配属について

1. 学科一括入試の趣旨について

学科一括入試は、芸術工学に関連するデザインに幅広く興味があるが、どのコースが自分にとって最も適切かを決めかねている方のためのものです。入学後に各コースの具体的な内容を少し学び、さらに各コースの教員との対話を進めた上で進路を決めることとなります。最初から特定のコースで学ぶことを希望している人は、学科一括入試ではなく、各コースで開設されている入試を受験してください。

2. 学科一括入試入学者のコース配属について

学科一括入試入学者（芸工クラス学生）は、1年次前期に芸術工学共通の基礎的なリテラシーを学びながら、様々なデザイン分野の事例を集めたデザイン・ケーススタディⅠを履修し、1年次後期に各コースが提供する専門科目を履修することとなります。

この間、芸工クラスサポート教員が、各コース専門分野の内容等を紹介し、本人の適性や関心に沿った履修やコース選択を行えるように複数回の面談を実施します。学生は、冬学期の終わりにコース希望届を提出することとなります。

配属コースの決定に当たっては、学生の希望を尊重しつつ、各学生の履修状況、成績や適性等を踏まえた助言を行い、総合的な判断を行います。